



# のびるほとっ子!

もっと ほっと ずっと

令和3年4月7日

横浜市立保土ヶ谷小学校

## 「令和3年度を迎えて」

学校長 小川 克之

ふりそそぐ春の日差しをあび、校庭のプランターに植えたチューリップも色鮮やかに咲いています。

令和3年度が始まりました。今年度は40名の新入生を迎え、全校児童259名でのスタートです。新学年となった子どもたちの元気な姿が学校に戻り、新しい出会いが待っています。今年度もよろしく願いいたします。

私は始業式で、この1年でこんなことをがんばってもらいたい、こんな子になってほしいということを3つ話しました。

1つ目は、「あいさつがしっかりとできる子」です。

子どもたちは「あいさつ」の大切さはわかっていると思います。しかし、学級や学年の中だけではなく、学校の中で、家に帰ってから、家を出てからも、自分からあいさつができるようになってほしいと思います。先生や友だちだけでなく、おうちの方、学援隊の方を始め、地域の方がみんなを見守ってくれています。感謝の気持ちを込めて、しっかりとあいさつができる子になってほしいと思っています。

2つ目は、「失敗をおそれずに挑戦する子」です。

これから、さまざまな場面で、いろいろなことに挑戦する機会がたくさんあるはずです。その挑戦する気持ちを大切にしながら、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。その結果、たとえ失敗しても、必ずそこに学びはあるはずです。「失敗は成功のもと」と言いますが、その失敗を次回に生かすことが、自信につながると思っています。

ぜひ失敗を恐れずに、いろいろなことに挑戦する子になってほしいと思います。

3つ目は「優しく思いやりのある子」です。

友だちや下級生の子が困っていたら、進んで助けてあげる、手を差し伸べてあげる、それが大切だと思います。思いやりのある言動や行動がいっぱい生まれれば、学校全体が温かい雰囲気になり、学校に行くのが楽しくなります。ぜひ、優しい気持ちを行動にうつして思いやりのある子になってほしいと思います。

小学校生活が子どもたちにとって、楽しく、成長の喜びにあふれたものになるように教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

※一昨年度末からコロナの影響で、学校行事や児童の活動が中止や延期になったり、内容が変更したりすることもありました。1日も早く終息してほしいと願っておりますが、今年度も状況次第では、行事や活動が計画通り実施できないことも考えられます。ご承知おきいただきたく存じます。